



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年11月10日

上場会社名 カワセコンピュータサプライ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7851 URL https://www.kc-s.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川瀬 康平
 問合せ先責任者 (役職名) 最高財務責任者兼総務部長 (氏名) 梶山 伸夫 (TEL) 06-6222-7474
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ()

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	1,486	0.4	△15	—	△11	—	△17	—
28年3月期第2四半期	1,479	△8.3	△11	—	△1	—	△9	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
29年3月期第2四半期	△3.61		—					
28年3月期第2四半期	△1.99		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	4,155	3,329	80.1
28年3月期	4,275	3,392	79.3

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 3,329百万円 28年3月期 3,392百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,200	1.5	45	△29.7	50	△39.8	35	483.3	7.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ『2 サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示』をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	5,160,000株	28年3月期	5,160,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	429,110株	28年3月期	429,110株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	4,730,890株	28年3月期2Q	4,730,929株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(1) 業績の状況

当第2四半期累計期間における日本経済は、新興国経済の減速の影響などから輸出・生産面に鈍さがみられ足踏み状態が続いているものの、一部で持ち直しの動きもみられており、緩やかな回復基調が続いています。

ビジネスフォーム業界におきましては、企業業務における電子媒体の活用が進む等、印刷需要の減少、それに伴う価格競争の激化や原材料の値上がりの影響を受け、引き続き厳しい状況が続いております。

このような情勢の中で、営業部門におきましては、ビジネスフォームと情報処理の技術を組み合わせたビジネスプロセスアウトソーシング関連業務の獲得に注力しました。金融機関、医療機関、中央官庁及び外郭団体をターゲットに新規先、新規部署の開拓や既存取引先との取引深耕作りに注力してまいりました。

生産部門におきましては、全ての部門で生産のスピードアップ、原材料・副資材の年間使用高の圧縮、加工外注の内製化など、それぞれ具体的な数値目標を定めコストダウンに取り組んでまいりました。

しかしながら、予想以上に現状は厳しく、売上高は1,486百万円（前年同期は1,479百万円）、経常損失は11百万円（前年同期は1百万円の経常損失）、四半期純損失は17百万円（前年同期は9百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ビジネスフォーム事業

企業のコスト見直しによる需要の減少、価格競争激化の影響により、売上高は前年同期と比べ、56百万円減少の887百万円（前年同期は944百万円）、セグメント利益は128百万円（前年同期は140百万円）となりました。

② 情報処理事業

幅広く新規案件獲得に向けた営業活動を行なったことや既存取引先の新規案件獲得もあり、売上高は前年同期と比べ63百万円増加の598百万円（前年同期は535百万円）、セグメント利益は44百万円（前年同期は28百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末と比べ209百万円減少し、2,378百万円となりました。これは主に「原材料及び貯蔵品」が44百万円、「その他」に含まれる「前払費用」が6百万円、「未収入金」が28百万円とそれぞれ増加し、「現金及び預金」が188百万円、「受取手形及び売掛金」が99百万円、「商品及び製品」が2百万円とそれぞれ減少したことが要因となっております。

固定資産は前事業年度末と比べ88百万円増加し、1,777百万円となりました。これは主に設備投資の影響により「有形固定資産」が74百万円、「投資その他の資産」に含まれる「投資有価証券」が21百万円とそれぞれ増加し、「投資その他の資産」に含まれる「保険積立金」が5百万円減少したことによるものです。

流動負債は前事業年度末と比べ81百万円減少し、683百万円となりました。これは主に「短期借入金」が6百万円増加し、「買掛金」が59百万円、「その他」に含まれる「未払金」が8百万円、「リース債務」が6百万円、「未払消費税等」が8百万円とそれぞれ減少したことが要因となっております。

固定負債は前事業年度末と比べ24百万円増加し、141百万円となりました。これは主に「その他」に含まれる「リース債務」が15百万円増加したことによるものです。

純資産の部は前事業年度末と比べ63百万円減少し、3,329百万円となりました。これは主に「その他有価証券評価差額金」が1百万円増加し、「利益剰余金」が64百万円減少したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、営業活動により28百万円の収入、投資活動により154百万円、財務活動により62百万円とそれぞれ支出した結果、前事業年度末に比べ188百万円減少し1,682百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間は、主に非現金支出費用の減価償却費70百万円、債権回収として売上債権の減少額99百万円が収入としての増加要因となり、棚卸資産の増加額44百万円、仕入債務の減少額59百万円が現金支出としての減少要因となったことにより、営業活動によるキャッシュ・フローは28百万円の収入（前年同四半期は19百万円の支出）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間は、主に有形固定資産の取得による支出111百万円、投資有価証券の取得による支出20百万円、保険積立金の積立による支出21百万円により、投資活動によるキャッシュ・フローは154百万円の支出（前年同四半期は7百万円の収入）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間は、主に短期借入金の純増額10百万円、リース債務の返済による支出22百万円、配当金の支払額46百万円を行ったことにより、財務活動によるキャッシュ・フローは62百万円の支出（前年同四半期109百万円の支出）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の見通しにつきましては、現時点における修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当第2四半期累計期間
(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期累計期間において、四半期財務諸表への影響額はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,950,422	1,762,116
受取手形及び売掛金	531,165	431,702
商品及び製品	34,697	31,851
仕掛品	9,634	12,176
原材料及び貯蔵品	22,199	66,531
その他	39,271	73,800
貸倒引当金	△54	△44
流動資産合計	2,587,336	2,378,133
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	323,508	310,957
土地	523,057	523,057
その他(純額)	238,617	325,818
有形固定資産合計	1,085,183	1,159,833
無形固定資産	18,683	14,904
投資その他の資産	584,590	602,302
固定資産合計	1,688,457	1,777,039
資産合計	4,275,794	4,155,173
負債の部		
流動負債		
買掛金	223,552	163,963
短期借入金	356,720	363,400
未払法人税等	12,260	12,832
賞与引当金	33,600	29,114
その他	139,124	114,156
流動負債合計	765,257	683,466
固定負債		
退職給付引当金	49,553	53,785
役員退職慰労引当金	42,069	47,052
その他	26,135	41,150
固定負債合計	117,758	141,989
負債合計	883,016	825,456
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,226,650	1,226,650
資本剰余金	1,172,655	1,172,655
利益剰余金	1,081,728	1,017,350
自己株式	△105,338	△105,338
株主資本合計	3,375,695	3,311,317
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	17,082	18,399
評価・換算差額等合計	17,082	18,399
純資産合計	3,392,777	3,329,716
負債純資産合計	4,275,794	4,155,173

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	1,479,799	1,486,080
売上原価	1,072,720	1,080,960
売上総利益	407,079	405,119
販売費及び一般管理費	418,294	420,326
営業損失(△)	△11,215	△15,206
営業外収益		
受取利息	797	601
受取配当金	1,671	1,665
作業くず売却益	2,036	1,904
為替差益	12	-
循環取引等差益	6,150	-
その他	2,445	3,425
営業外収益合計	13,112	7,597
営業外費用		
支払利息	3,515	2,420
その他	365	1,025
営業外費用合計	3,881	3,446
経常損失(△)	△1,984	△11,055
特別損失		
有形固定資産除却損	78	-
投資有価証券評価損	1,609	-
特別損失合計	1,687	-
税引前四半期純損失(△)	△3,672	△11,055
法人税、住民税及び事業税	5,736	6,013
法人税等合計	5,736	6,013
四半期純損失(△)	△9,408	△17,069

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△3,672	△11,055
減価償却費	76,300	70,779
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△78	△9
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,523	△4,486
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△915	4,232
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8,481	4,983
受取利息及び受取配当金	△2,468	△2,267
支払利息	3,515	2,420
有形固定資産除却損	78	-
投資有価証券評価損益(△は益)	1,609	-
売上債権の増減額(△は増加)	2,252	99,462
たな卸資産の増減額(△は増加)	△57,517	△44,027
仕入債務の増減額(△は減少)	18,025	△59,588
その他	△41,783	△24,045
小計	△694	36,397
利息及び配当金の受取額	2,468	2,278
利息の支払額	△3,460	△2,407
法人税等の支払額	△15,584	△7,552
役員退職慰労金の支払額	△2,359	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	△19,630	28,716
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	50,000	-
有形固定資産の取得による支出	△23,441	△111,042
無形固定資産の取得による支出	△480	△1,714
投資有価証券の取得による支出	△530	△20,924
保険積立金の積立による支出	△19,111	△21,789
その他	988	797
投資活動によるキャッシュ・フロー	7,426	△154,674
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△35,000	10,000
長期借入金の返済による支出	△3,320	△3,320
自己株式の取得による支出	△21	-
リース債務の返済による支出	△23,815	△22,343
配当金の支払額	△47,237	△46,453
財務活動によるキャッシュ・フロー	△109,394	△62,116
現金及び現金同等物に係る換算差額	12	△231
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△121,585	△188,306
現金及び現金同等物の期首残高	1,869,766	1,870,422
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,748,180	1,682,116

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	ビジネスフォー ム事業	情報処理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	944,349	535,450	1,479,799	—	1,479,799
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	944,349	535,450	1,479,799	—	1,479,799
セグメント利益又は損失(△)	140,983	28,098	169,081	△180,296	△11,215

(注) 1. 「調整額」の区分は全社費用を記載しております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期財務諸表の営業損失と調整を行っています。

II 当第2四半期累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	ビジネスフォー ム事業	情報処理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	887,624	598,456	1,486,080	—	1,486,080
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	887,624	598,456	1,486,080	—	1,486,080
セグメント利益又は損失(△)	128,113	44,880	172,994	△188,201	△15,206

(注) 1. 「調整額」の区分は全社費用を記載しております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期財務諸表の営業損失と調整を行っています。